

縮緬茎立ち

1, 解説

会津若松市周辺で栽培されてきた西洋アブラナ (*B. napus*)の中から選抜された茎立ち菜であり、葉の縮れが強く縮緬状となるのが特徴である。

やわらかく味の良い品種ではあるが、種子低温感応が見られず、出蕾、抽苔は在来品種中最も遅い。葉の形状は卵形、全体が縮葉し葉縁に切込みが見られる。

収穫時の側枝は葉5~6枚展開である

主に春先に抽台した花茎を利用する。

会津地方では、早い作型に会津早生茎立ちを利用し、遅い作型に本種を利用する。

2, 写真



子葉



子葉



本葉8枚期の草姿



抽台開始前の草姿



抽台期（収穫期）の葉型



収穫期の本葉



花茎を分解したところ

3, 遺伝資源の栽培および保存状況

- ・種子は会津若松市の（株）菊池種苗店で販売されている。